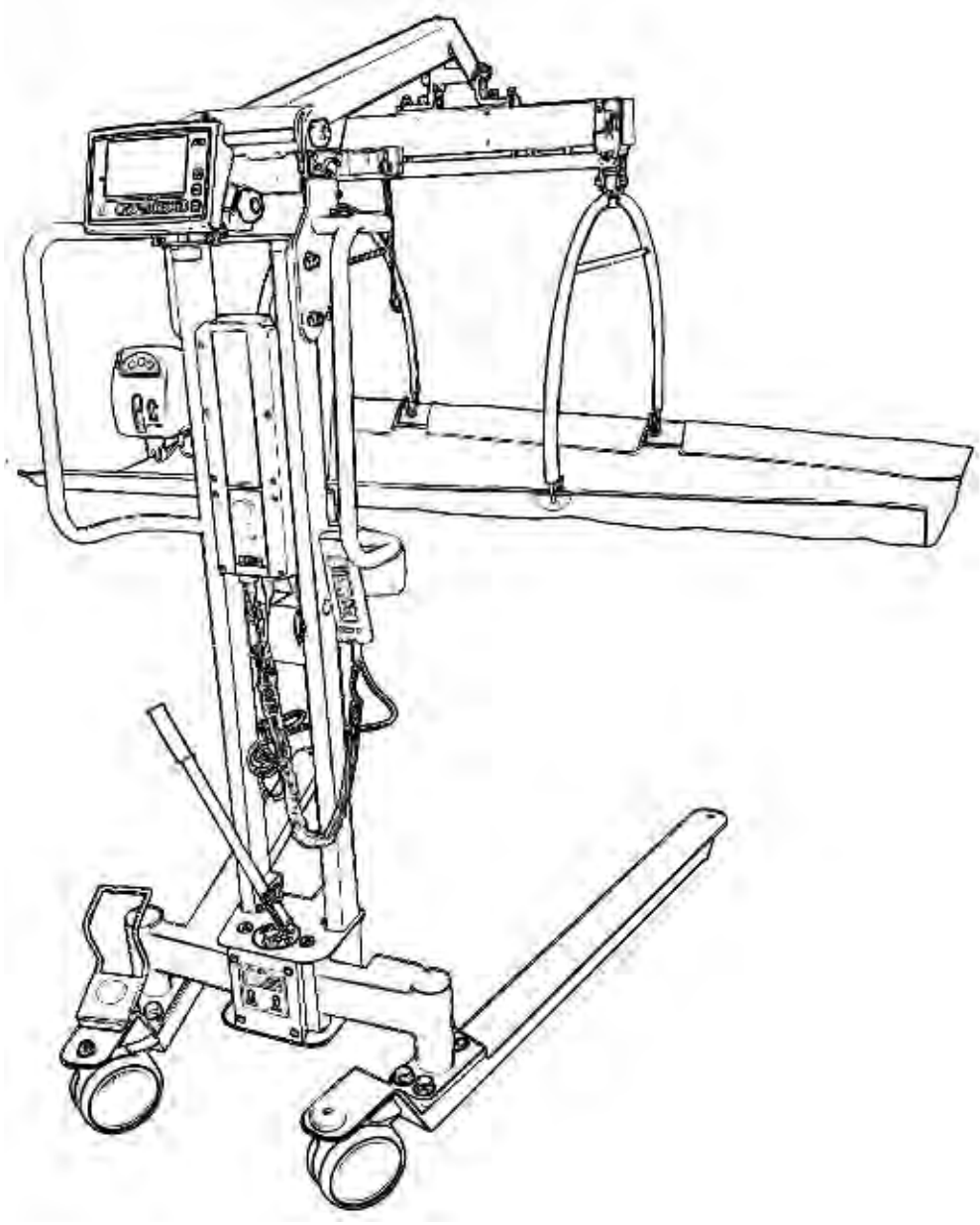
AD-6081

電動昇降リフト式体重計　スマートリフト

取扱説明書



A&D Medical

1WMPD4002794

1310

ご注意

（1） 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（2） 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
（4） 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2013 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および本器には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。 左図の場合は「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	本器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全及び危険防止）の注意事項

本器を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を充分に理解した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、本器の安全な取り扱いの他に、測定者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。本器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 本器の設置および保管は、次の点に注意して下さい。

⚠警告	
	■ 本器は傾斜のないところに設置してください。自重で移動し事故の原因となります。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
	□下記の使用環境、保管環境でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 本器および被験者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度+5℃～+35℃、湿度 85%RH 以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度-10℃～+60℃の場所。 ■ 本器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。
	□ 本器の設置・移動時は、下記に注意してください。 ■ 必ずストレッチャーシーツを外して、開脚脚を閉じた状態で移動してください。転送する恐れがあります。 ■ 設置時、測定時には必ずキャスターをロックして本器が動かないことを確認してください。 ■ 移動中に本器のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本器を壁や物などにぶつけないようにしてください。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。
	■ 接置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 本器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠警告	
	■ 電源電圧は必ず交流 100V でご使用ください。 火災や感電の原因になります。

⚠注意	
	■ バッテリーが十分充電されていることを確認してください。 ■ キャスターのロックが正しく動作することを確認してください。 ■ 本器が安全かつ正確に動作すること確認してください。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていることを確認してください。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことをを確認してください。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行ってください。 ■ 本器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れてください。
	■ 本器は人の体重を測定することを目的としています。 体重測定以外の目的で使用しないでください。 ■ 電源ケーブルや他のケーブルの上に重いものを載せたり、本器の下敷きにしないでください。 火災・感電の原因になります。 ■ 電源ケーブルが破損している場合は使用しなでください。感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないでください。

3. 本器の使用中は次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ 患者を載せたままの移動は決ししないでください。患者が死亡又は怪我をする恐れがあります。 ■ ストレッチャーシーツを吊り輪に取り付けた後に、患者を載せないでください。ストレッチャーシーツが外れて患者が落下する恐れがあります。
	■ リフトを下降させるときは、ストレッチャーシーツ又は吊り輪の下に人がいない事を確認してください。 ■ 測定中は、絶えず患者の姿勢を確認してください。片寄った乗り方をすると患者が落下する恐れがあります。 ■ ストレッチャーシーツを上昇させる前にかならず、吊り輪のフック部が全て正しく取り付いていることを確認してください。

⚠注意	
	■ 本器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視してください。 ■ 本器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で本器の動作を止める等適切な措置を講じてください。
	■ 強磁界および強電界中では使用しないでください。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないでください。 測定値に誤差を生じる恐れがあります。温度差のある場所に移動するような場合は、 移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないでください。 故障の原因になります。

4. 本器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
❗	■ ストレッチャーシーツは吊り輪から外して保管してください。 ■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ってください。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管してください。 ■ 本器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃してください。
⃠	■ ケーブル類を取り外す時は、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないでください。

5. 本器が異常と思われた時は、次の処置をしてください。

⚠警告	
❗	■ 測定者および被測定者の安全を確保してください。 ■ コントローラの非常停止ボタンを押してください。 ■ 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。 ■ 本器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社までご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
❗	■ お手入れの際は、感電防止のため、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった本器を再使用するときは、使用前に必ず本器が正常にかつ安全に動作することを確認してください。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。本器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
⃠	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波やノイズにより誤動作を起こすことがありますので注意して下さい。

⚠注意	
❗	■ 本器は、JIS C 61000-4-3(電磁両立性)に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。本器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 次に一般的な原因と対策の一例をあげます。 ■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。 □ 医用電気本器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線本器等の電源を切るよう指導する。 □ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控えてください。 ■ 電源コンセント等を伝わって、他の本器から高周波雑音が入った場合 □ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策してください。 □ 雑音源が停止できる本器であれば、その使用を止めてください。 □ 他の電源コンセントから電源を取ってください。 ■ 静電気の影響があると思われる場合（本器およびその周辺での放電） □ 装置を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行ってください。 □ 部屋を加湿してください。 ■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が本器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で本器を動作させてください。 □ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用してください。

8. 環境保護

⚠注意	
❗	■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。

開梱

本器において内容物、数量などは組立説明書をご参照ください。

⚠注意	
	■ 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ
■ 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には本器が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本器と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷があったり内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「9. アクセサリ・オプションリスト」を参照してください。

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの電動昇降リフト式体重計 AD-6081 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、本器の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。
本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

本器は、病院、介護施設など医療介護関係向けのリフト型体重計です。以下の特長があります。

■電動アクチュエータによるスムースな昇降
■低床ベッドから集中治療室ベッドまで対応した余裕の昇降範囲
■余裕の 180kg ひょう量
■洗えるストレッチャシーツ
■BMI 機能
■前回値表示機能
■オプションプリンターによる、日時を入れた測定値印字

3. 用語の解説

用語	解説
ひょう量	はかりが計量可能な最大の質量を表します。 本器のひょう量は 180kg です。
目量	はかりの 1 つの目盛の量を表し、デジタル表示の場合、数字が切り替わる間隔を表します。本器は 0.1kg です。
正味量	総量から風袋量を差し引いた正味の質量を表します。
プリセット風袋引き	計量時に風袋の質量を測ることなく、事前に把握している着衣などの質量を入力して風袋設定した値を表します。本器では「衣服引き量」として表現しています。
総量	風袋量又はプリセット風袋量と正味量を足した質量値を表します。

4. 仕様

4.1. 型名構成

型名 / 搭載機能	AD-6081
デジタル LCD 表示	○
体重測定	○
プリセット風袋引き測定	○
BMI 計算	○
前回値表示	○
印刷	オプション

4.2. 本体仕様

4.2.1. 共通仕様

項目	仕様
型名	AD-6081
販売名	電動リフトスケール
使用温湿度範囲	温度：5℃～+35℃　湿度：85%RH 以下（結露なきこと）
保存温度範囲	温度：-10℃～+60℃
電源	バッテリー　昇降回数約 50 回/60kg 荷重時, 約 15 回/180kg 荷重時 充電寿命　約 400 回（バッテリー50% 放電時）
寸法	1086(W)×1462(D)×1923(H) ［mm］
本体質量	約 80kg （ストレッチャーバー、ストレッチャーシーツ除く）
耐用期間	設置後 5 年　弊社データによる自己認証。（正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。）

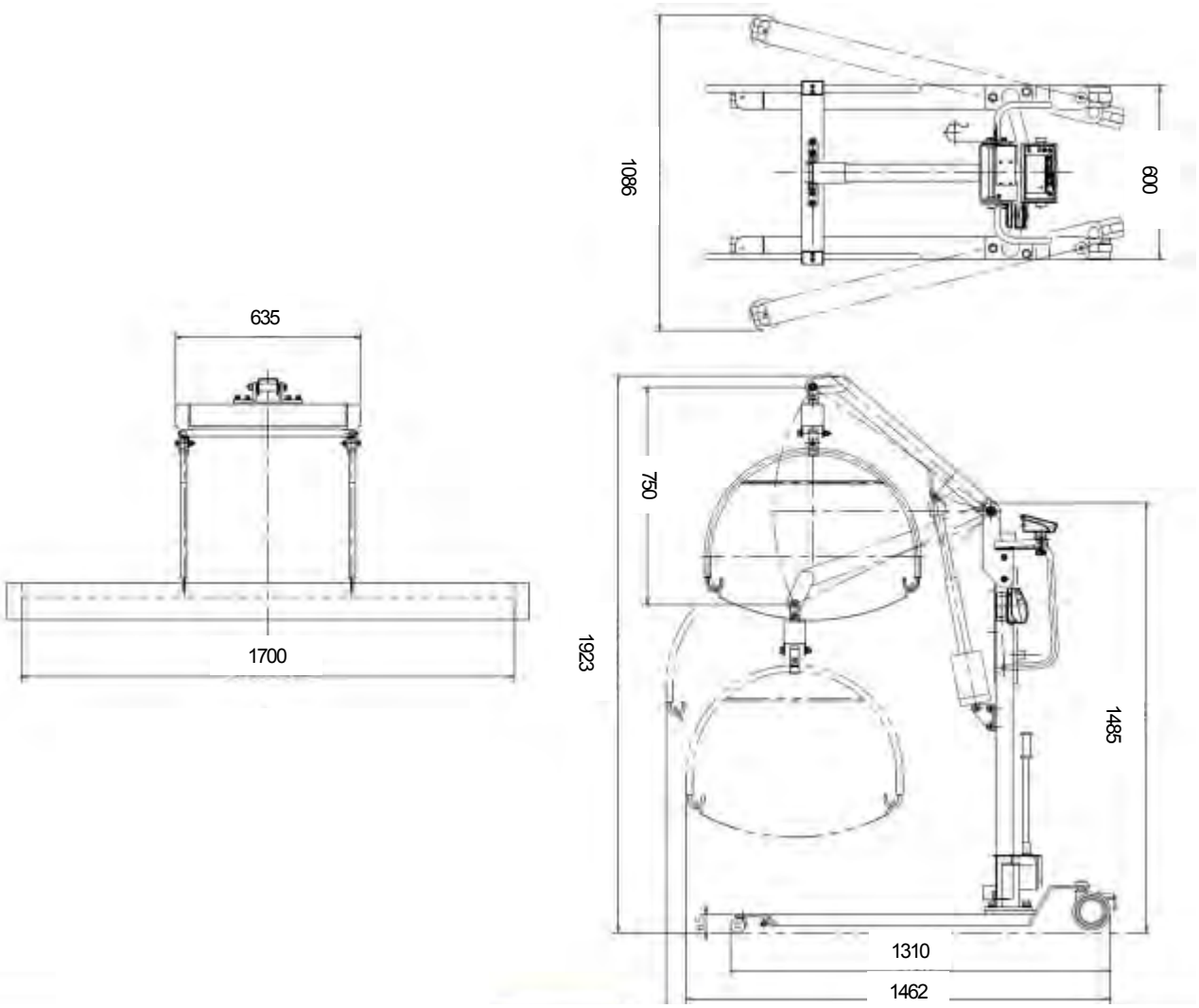
4.2.2. 体重測定部

項目	仕様
ひょう量	180kg
目量	100g
表示	7 セグメント液晶表示 メイン画面：文字高 30 ［mm］ 補助画面：文字高 20［mm］

4.2.3. 機構部

項目	仕様
リフト機構	電動アクチュエータ

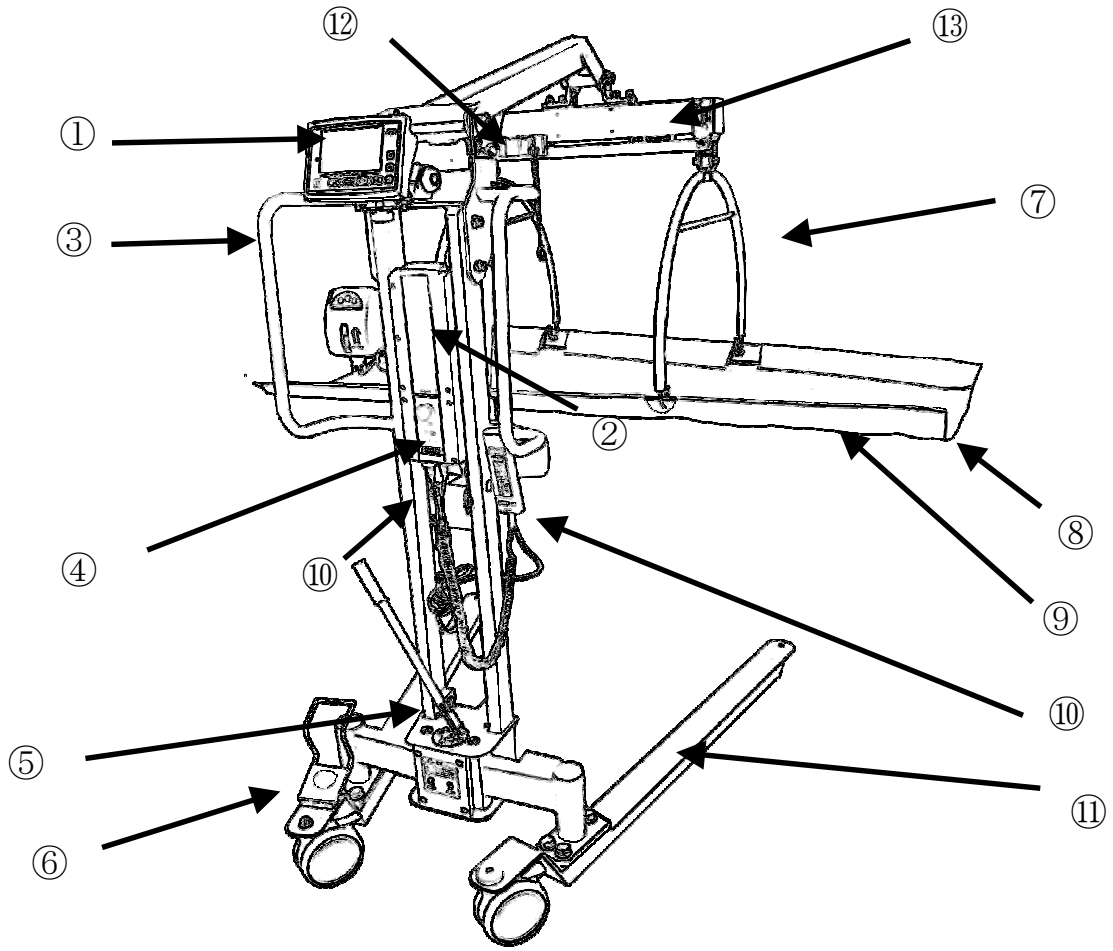
4.3. 外形寸法



単位 mm

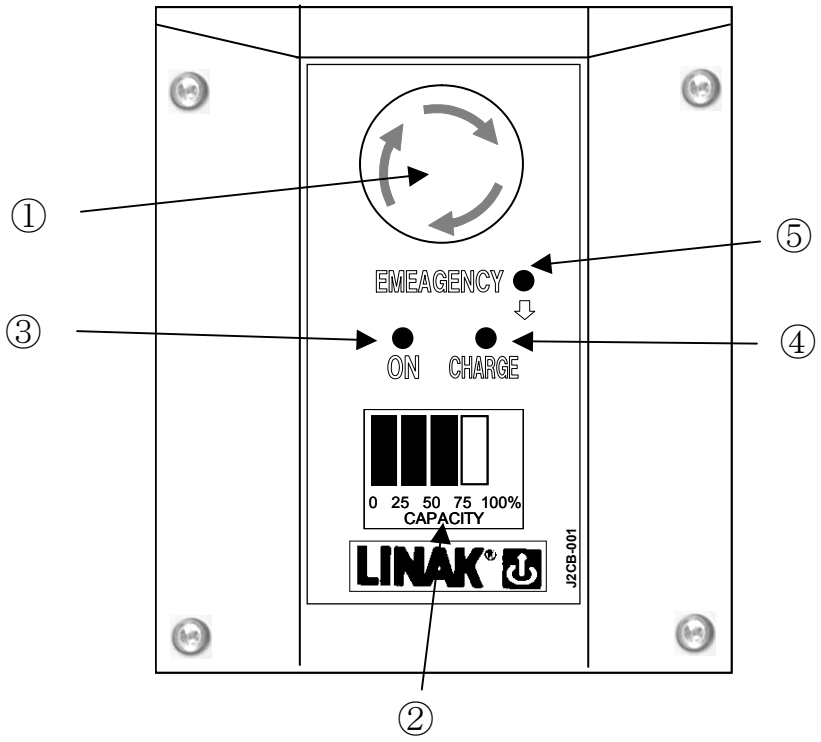
5. 各部の名称

5.1. 全体



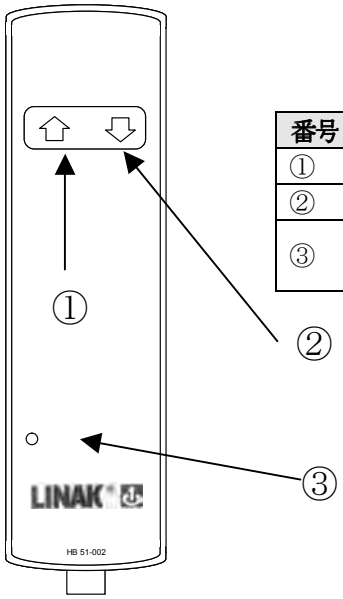
番号	名称	機能
①	体重表示器	体重値の表示や各種設定動作を行います
②	バッテリー	アクチュエータ動作用の充電式バッテリーです
③	移動用ハンドル	リフトスケールの移動を行う場合のハンドルです
④	コントローラ	アクチュエータへ電源を供給するバッテリーのコントローラです 状態の表示や、電源供給停止する非常停止スイッチがあります
⑤	開脚脚ハンドル	開脚脚の操作用ハンドルです
⑥	キャスターロック	キャスター固定用のロックです
⑦	吊り輪	先端にフックがあり、ストレッチャーシーツを取付ます。
⑧	ストレッチャーシーツ	体重測定時に患者仰向けに乗せるシーツです
⑨	ストレッチャーバー	ストレッチャーシーツをフックへ固定させるためのアルミの棒です
⑩	リモコン	アクチュエータの上下コントロールを行うリモコンです
⑪	開脚脚	体重測定時に安定を保つ開脚用脚です。用途に応じて開いたり、閉じたりします
⑫	ストレッチャーシーツ収納スタンド	ストレッチャーシーツを収納するとき、立てかけます。
⑬	センサユニット	体重測定をおこなうセンサ部分です

5.2. コントローラ



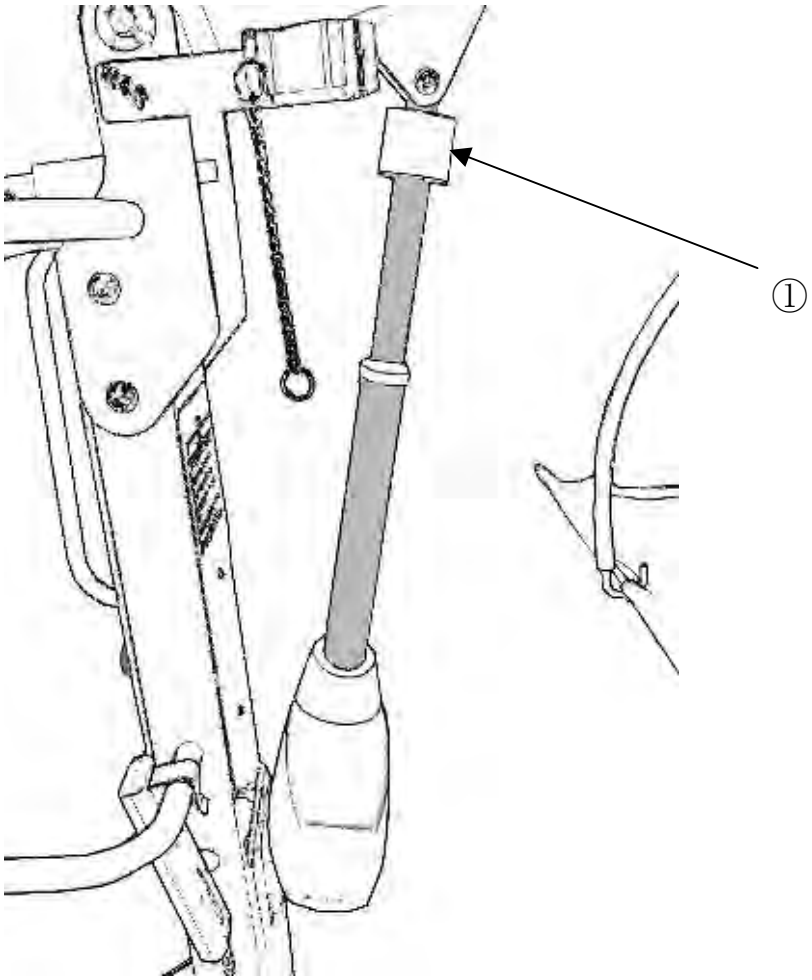
番号	名称	機能
①	非常停止ボタン	緊急時に押すとアクチュエータの動作がとまります。
②	充電レベルバー	バッテリーの充電に応じてバーが表示されます。
③	ON マーク	アクチュエータ動作時に点灯します。
④	CHARGE マーク	バッテリー充電時に点灯します。
⑤	EMERGENCY スイッチ	非常停止中に先の細いもので押すと、アクチュエータが下がります。

5.3. リモコン



番号	名称	機能
①	上昇スイッチ	スイッチを押している間リフトが上昇します。
②	下降スイッチ	スイッチを押している間リフトが下降します。
③	充電マーク	バッテリーが低電圧時に点灯します。すぐに充電してください

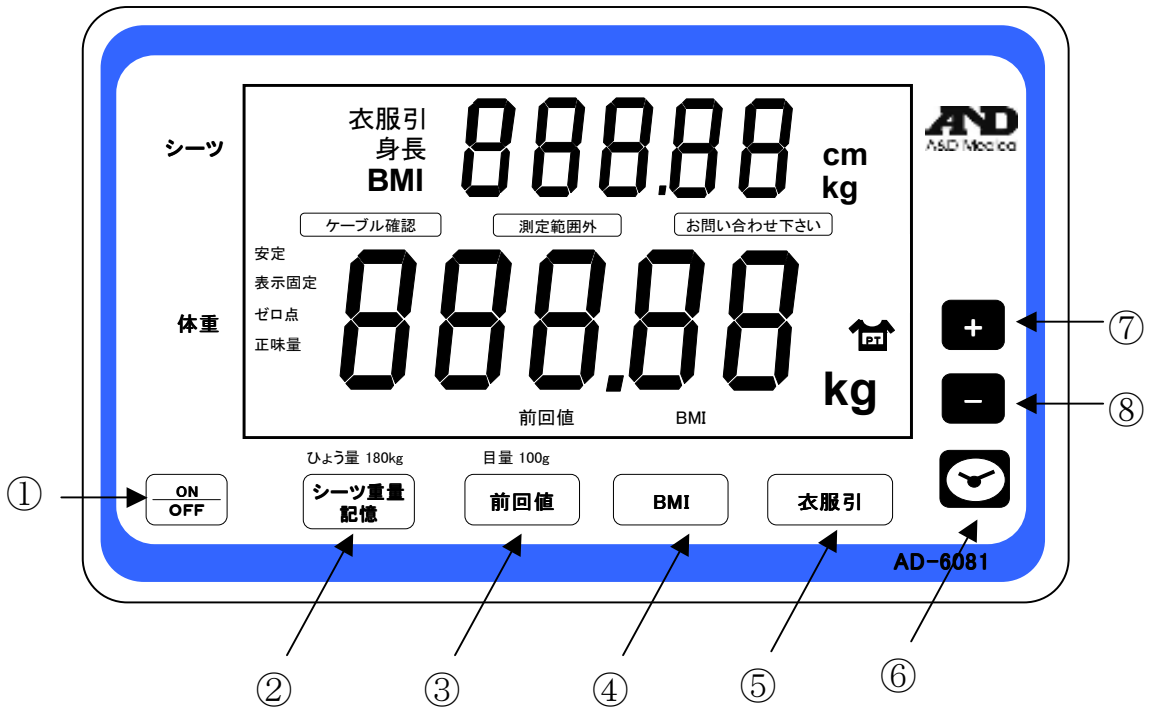
5.4.　アクチュエータ



番号	名称	機能
①	握り	停電時など電源供給がないとき、回すことでリフトを降ろします。

5.5. 体重表示器

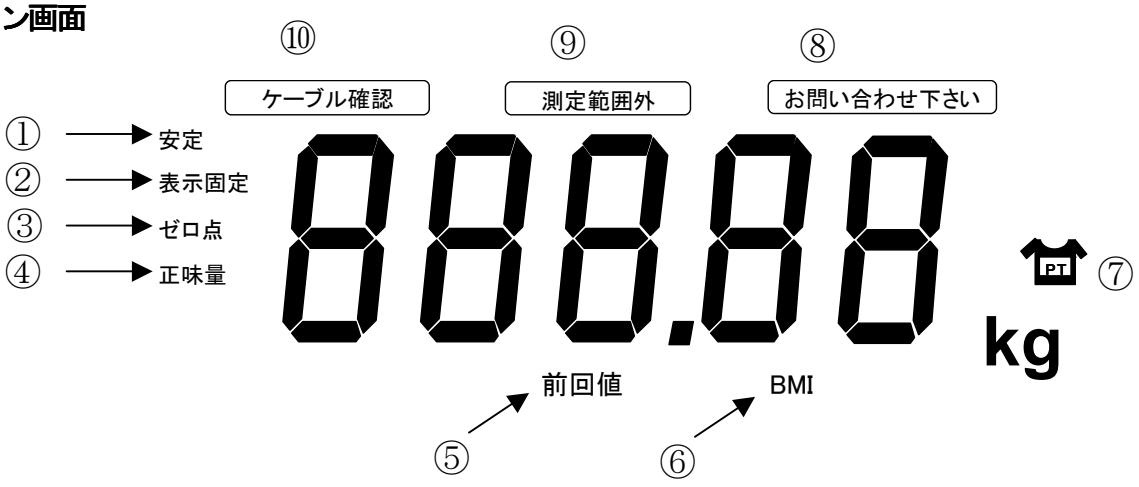
5.5.1. スイッチ



番号	名称	機能
①	ON/OFF	電源のオン・オフを行います。電源オンで待機状態になります。
②	シーツ重量記憶	表示を 0.0kg にして新しくシーツ重量を変更するとき押します。
③	前回値	直前に測定した体重値を確認するときに押します。
④	BMI	BMI を計算し表示するとき押します。
⑤	衣服引	事前に衣服の重さを差し引くとき押します。
⑥	時計	時刻設定をするときに押します。
⑦	＋	各種値を増加させます。
⑧	―	各種値を減少させます。

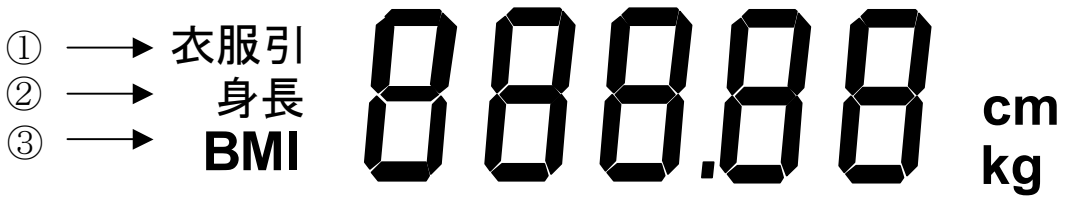
5.5.2. 表示部

□ メイン画面



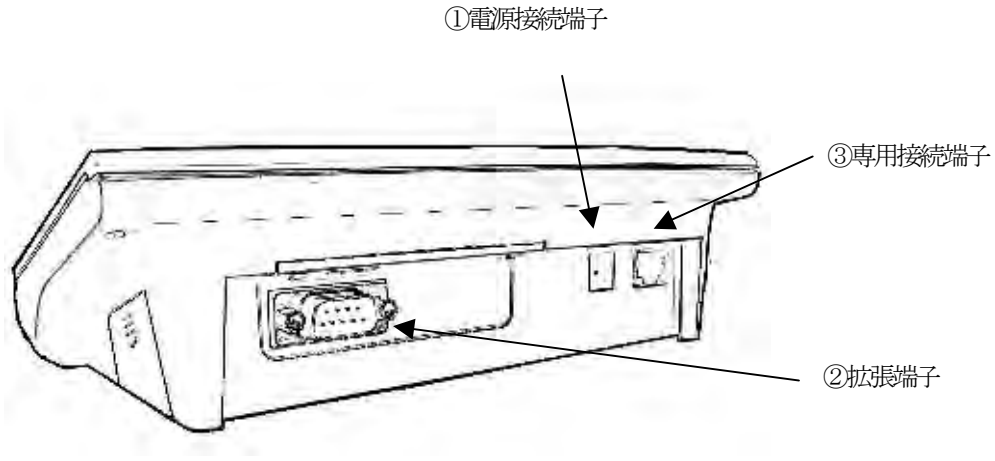
番号	名称	説明
①	安定	体重値が安定したら点灯します。
②	表示固定	安定した体重値を一定時間表示しつづけるとき点灯します。
③	ゼロ点	ストレッチャーシーツを取り付けていないときまたは、体重値が 0.0kg のとき点灯します。
④	正味量	測定をしている間点灯します。
⑤	前回値	前回値を表示中に点灯します。
⑥	BMI	BMI 測定中に点灯します。
⑦	衣服引	衣服引き測定をしているとき点灯します。
⑧	ケーブル確認	標示器とセンサ部の専用接続ケーブルが接続されていないとき、または切れているとき点灯します。
⑨	測定範囲外	計量値が 200kg 以上のときと、-10kg 未満のとき点灯します。
⑩	お問合せ下さい	製品の異常（故障）を検知した時点灯します。

□補助画面



番号	名称	説明
①	衣服引	衣服引き測定をしている間、設定量とともに点灯します。
②	身長	BMI 測定のとき、身長値を表示しているとき点灯します。
③	BMI	BMI 測定のとき、BMI 値を表示しているとき点灯します。

□ 表示器背面



番号	名称	説明
①	電源接続端子	表示器用電源ケーブルを接続します。
②	拡張端子 (D-sub9 ピンコネクタ)	オプションプリンタと通信ケーブルにより接続します。
③	専用接続端子	センサ部につながる専用接続ケーブルを接続します。

6. 使用前の準備

6.1. 設置

⚠注意	
	■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃の無い水平で安定した場所に設置してください。製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。 ■ 本器は、ひょう量と本器質量に十分耐え得る場所に設置してください。 ■ 本器の周囲の壁等との接触は避けてください。測定に影響します。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動する時に手や足をはさまないようにご注意ください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないようにご注意ください。

6.2. 電源の準備

⚠警告	
	■ 電源電圧は交流 100V でご使用ください。

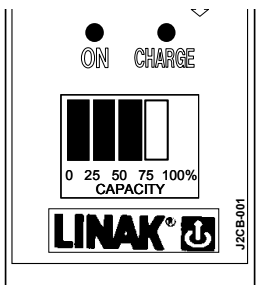
⚠注意	
	■ 弊社指定外の物を使用した場合、火災、感電、または製品故障の原因となります。

6.2.1. 本体の充電

⚠注意	
	■ ご使用にならないときは常に、AC コードをコンセントにつなぎバッテリーを充電させてください。電池容量が一定以下になりますと、ご使用ができなくなります。 ■ 常に充電ができない状態で、1カ月以上にわたり長期間保存する場合は、6.2.2 に従いバッテリーを本器から外してください。その際1カ月に1回は本器に取り付け、必ず充電をおこなってください。

手順：

1．AC コードをコンセントへつなぎます。
2．充電時間は約 8 時間で完了します。
3．コントローラユニットのバッテリー残量が図のようになっていることを確認します。



お知らせ

- バッテリーは完全に無くなってからの充電を繰返すことで、寿命が短くなります。
- 満充電から充電レベルバーの残量表示が極端に早く減る場合はバッテリーの寿命が考えられるので、バッテリー交換が必要となります。
- **内蔵バッテリーの寿命は約 400 回(50%放電) です。動作に問題があるときは速やかに以下の手順に従ってオプションバッテリーUFT-BJ に交換してください。**

6.2.2. バッテリーの交換

AC コードを接続しても充電されないときはバッテリー残量がなくなっている可能性があります。
まずは、弊社 ME 機器相談センターにお問合せのうえ、バッテリー交換となった場合は下記手順で交換してください。

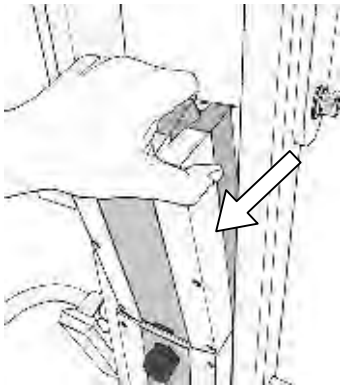
⚠注意

- 通常にご使用されているときは、決してバッテリーを外さないでください。
- 使用済バッテリーの廃棄は環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

手順：

1．バッテリー上部のロック部分を手で握ります。

2．矢印の方向に傾け、上側にはずします。



3．取り付ける際は逆の手順で取付ます。

6.3. 始業前点検

⚠注意	
	■ 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

一日の最初に使用する時、以下の始業前点検を行ってください。

6.3.1. 電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ 変形や破損はないか ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか ■ パネル類に割れやガタつき等はないか ■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか ■ 結露や水濡れはしていないか ■ バッテリーが装着されているか ■ バッテリーが十分充電されているか
本体	■ ガタつき、破損等はないか ■ キャスター動作（転がり、ロック機構）が正常か
接続ケーブル	■ 各ケーブル等は傷んでいないか ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか ■ リモコンがコントローラに接続されているか
リモコン	■ リモコン昇降ボタンが正しく動作するか
アクチュエータ	■ アクチュエータの握りを回すと、リフトが降りるか
コントローラ	■ 非常停止ボタンを押すと動作がとまるか ■ 非常停止ボタンは正しく解除されるか

6.3.2. 電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題が無いことを確認してご使用ください。

項目	内容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか ■ 異常な音が聞こえないか
体重測定	■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか
スイッチ・ボタン	■ スイッチ、ボタン類の動作に異常はないか
表示	■ 文字欠け等表示異常はないか

上記の「始業前点検」で、設定などがズレている場合、本書をご参照の上、修正を行ってください。

6.4. 時計の設定

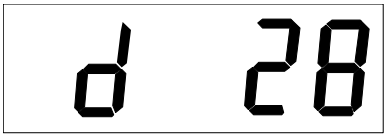
下記の方法で日付・時刻を設定してください。設定した日付・時刻は拡張端子により、測定データと共に出力され印字（オプションプリンタ PR-580 装着時）できます。

手順：

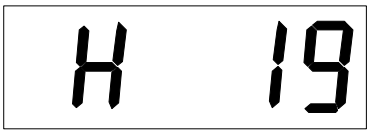
1. スイッチを３秒以上押してください。
2. メイン画面に西暦が点滅表示します。[＋]、[－]スイッチで西暦を合わせてください。

3. [シーツ重量]スイッチを押すと設定され、メイン画面に月が点滅表示します。[＋]、[－]スイッチでお使いの月に合わせてください。

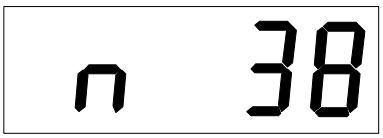
4. [シーツ重量]スイッチを押すと設定され、メイン画面に日が点滅表示します。[＋]、[－]スイッチでお使いの日に合わせてください。



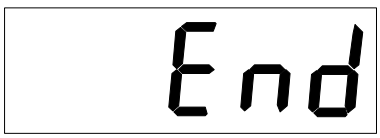
5. [シーツ重量]スイッチを押すと設定され、メイン画面に時刻が２４時間で点滅表示します。[＋]、[－]スイッチでお使いの時刻に合わせてください。



6. [シーツ重量]スイッチを押すと設定され、メイン画面に分が点滅表示します。[＋]、[－]スイッチでお使いの分に合わせてください。



7. [シーツ重量]スイッチを押すと設定され、メイン画面に“End”の文字があらわれ設定は完了します。



お知らせ

- 年データの設定可能範囲は、2013～2099 年です。
- 本器の時計は、24 時間制です（閏年対応）。
- 時刻設定中に[ON/OFF]スイッチを押すなどして時刻設定モードを抜けた場合、変更した時刻データ（年～分）は設定されません。
- 本器の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。

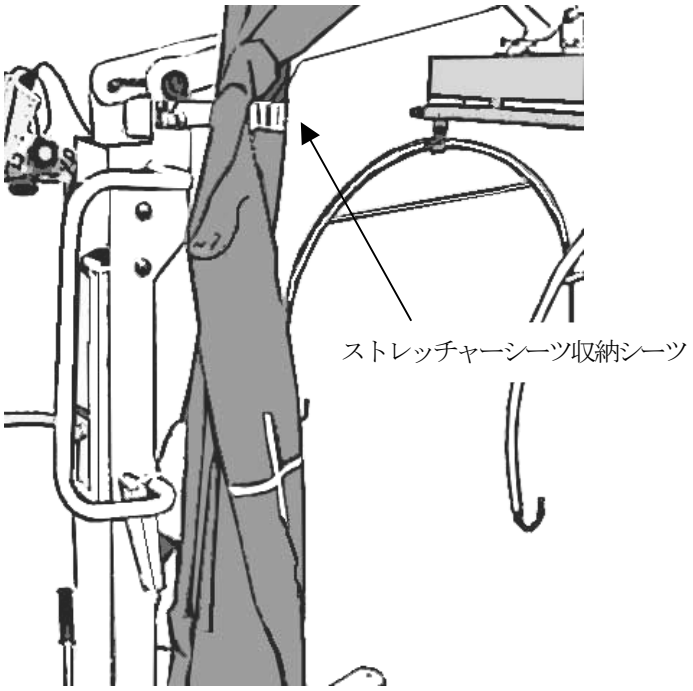
6.5. 移動の仕方

⚠警告	
	■ 患者を載せたままの移動は決してしないでください。患者が死亡又は怪我をする恐れがあります。

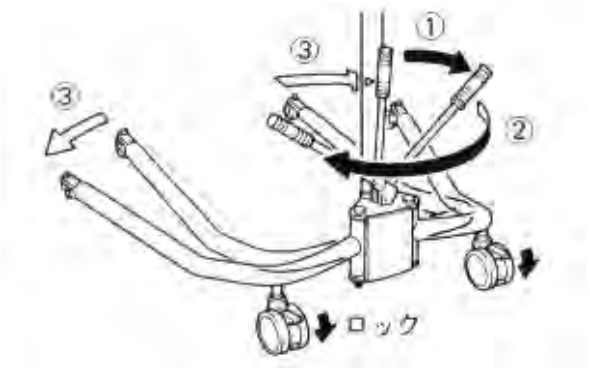
⚠注意	
	■ 本器は小さな隙間があります。指などをはさみけがをしないようにご注意してください。 ■ 激しく移動しないでください。ストレッチャーバーやストレッチャーシーツが落下したり、表示器が外れ、けがをする原因になります。
	■ 移動時は移動用ハンドルから手を放さないでください。バランスを崩し、けがをする原因になります。
	■ 本器は重量物のため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないように注意してください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順：

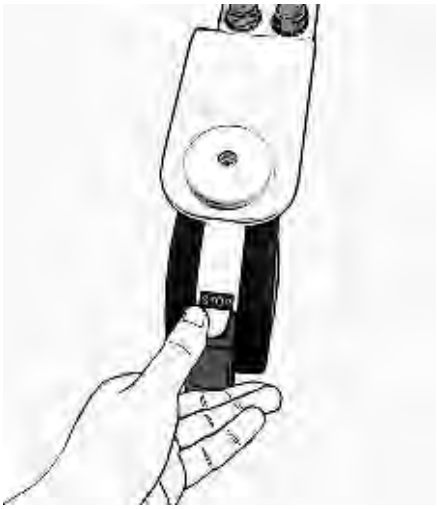
1．ストレッチャーシーツを取り外し、ストレッチャーシーツ収納スタンドに折りたたんで収納してください。



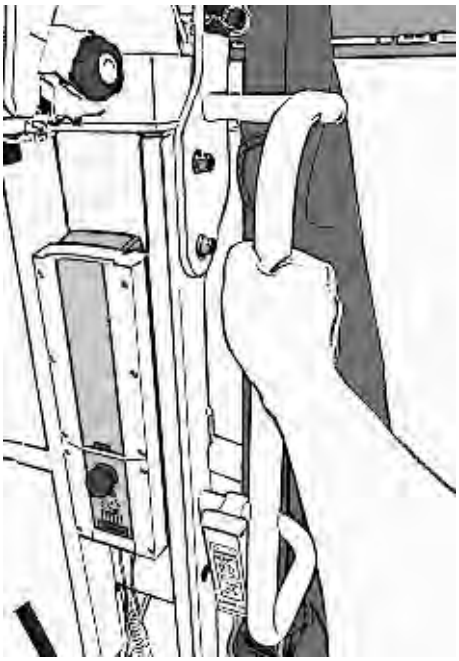
2．脚開脚ハンドルを反時計回りに回して、脚を閉じてください。



3．キャスターロックを解除してください。



4．移動用ハンドルをしっかりともって移動してください。

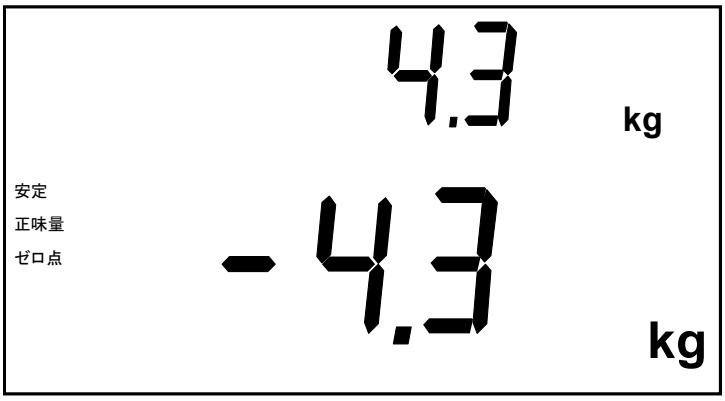


7. 測定方法

7.1. 体重をはかる

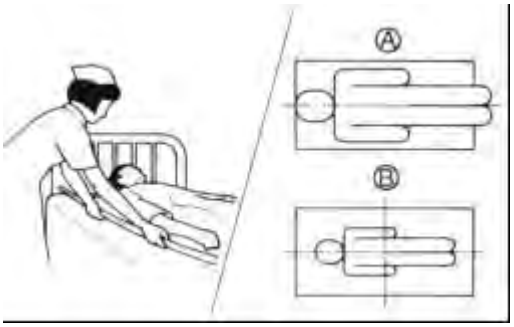
手順：

1．測定を開始する前に電源の確認をしてください。「電源の準備」参照
2．リモコンの上昇・下降を押して、リフトが上下することをご確認ください。
3．吊り輪に負荷がかかっていないこと、何も当たっていないことを確認し、体重表示器の ON/OFF スイッチを押して ON にします。
4．表示上部にシーツの重量、下部にはシーツの重量がマイナスで差し引かれた値が表示されます。



5．ストレッチャーシーツを、ベッドシーツを交換する要領で患者の下に敷きます。

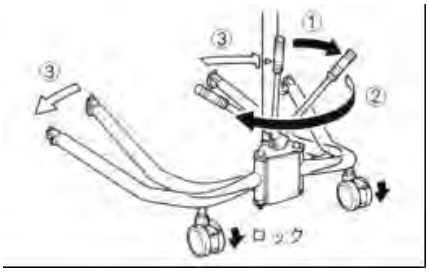
6．ストレッチャーシーツの上で患者身体の位置を決めます。



⚠注意	
❗	■ 重心が偏らないようにしてください。 A：シーツより身長の大きい人　頭がシーツよりはみ出さないようにシーツの端に来るようにしてください。 B：シーツより身長の小さい人　シーツの中央やや下に身体がくるようにしてください。

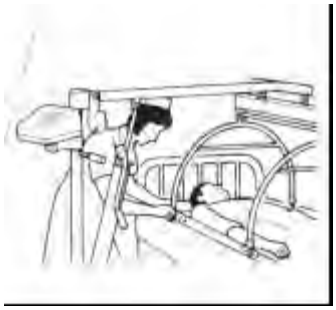
7．本器をベッドに近付けリモコンで吊り輪を上下させ、患者より 10ｃm程度の高さ位置にします。

8．脚開閉バーを操作します。
① 45 度に倒します。
② 右に 180 度回転させます。
③ 脚開脚が開いて本器を安定させます。

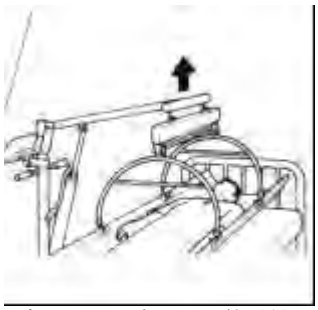


⚠注意	
❗	■ キャスターロックを下にして、本器がロックされていることを確認してから操作してください

9．リモコン操作でゆっくりと吊り輪を下げます。吊り輪のフック部がストレッチャーに届く寸前に止めます。（フック部が完全にベッドまで下がらない少し浮いた状態で止めるとフック部の取り付け作業が楽に行えます。）
ストレッチャーシーツの 4 か所の穴に吊り輪のフック部をひっかけます。



１０．リモコンを上下させて患者をベッドから 5～10㎝浮かした状態まで上昇させます。ストレッチャーバーやシーツに周囲のものが触れていない事を確認してください。



１１．体重が安定すると安定マークと表示固定マークが点灯し、体重値が表示固定されます。表示された測定値が患者の体重となります。（オプションプリンタ装着時：日付、時刻とともに体重値、シーツ重量が印字されます）

１２．体重測定後は、リモコン操作で患者をベッドの上に降ろします。

１３．患者が完全にベッドにもどった事を確認して、ストレッチャーバーを吊り輪のフック部から外して、リモコンを上下させて、吊り輪を患者から十分に離し、ストレッチャーシーツを、敷くときと逆の手順で取り外します。

⚠注意	
❗	■ ブザー音が連続で鳴り表示に E が出ているときはリモコンの操作をすぐに停止して、フック部の引っかかりなどを確認してください。 ■ 連続で測定するときは、18 分以上間をあけてから測定してください。

7.1.1. 前回測定を表示する

測定値の記録などを忘れたときは、前回値スイッチを押すことで、直前に測定した値が表示されます。
７．６項のオプションプリンタ装着時には、日付、時刻とともに体重値、シーツ重量が印字されます。

7.2. シーツの重さを変える

シーツに毛布など加えて重さを一時的に変えてはかるときは以下に従ってください。

手順：

1．吊り輪に負荷がかかっていないこと、何も当たっていないことを確認し、体重表示器のON/OFFスイッチを押して体重測定ONにします。
2．表示上部にシーツの重量、下部にはシーツの重量がマイナスで差し引かれた値が表示されます。
3．吊り輪のフックに、ストレッチャーシーツのみ（または毛布など一緒に）取付ます。
4．安定したら、シーツ重量スイッチを3秒以上押します。
5．表示上部には新しいシーツ重量が表示され、表示下部は0kgになっていることを確認します。

6．この状態で、ストレッチャーシーツを取り外すと、表示下部にはシーツ重量が差し引かれてマイナス表示になります。
７．１　５の手順から同じように測定してください。

7.3.　シーツの重さを更新する

標準と異なるシーツなど、シーツの重さを変更して記憶すると、電源を入れなおしても新しいシーツ重量になります。

⚠注意	
❗	■ シーツの重さを更新すると電源を入れなおしてもシーツの重さは変更されたままになります 一時的に変更するときは7.2に従ってください。

手順：

1．吊り輪に負荷がかかっていないこと、何も当たっていないことを確認し、体重表示器の[ON/OFF]スイッチを押して体重測定ONにします。
2．表示上部にシーツの重量、下部にはシーツの重量がマイナスで差し引かれた値が表示されます。
3．吊り輪のフックに、ストレッチャーシーツのみ（または毛布など一緒に）取付ます。
4．安定したら、[－]スイッチを押しながら、[シーツ重量]スイッチを3秒以上押します。

5．表示上部には新しいシーツ重量が表示され、表示下部は0kgになっていることを確認します。

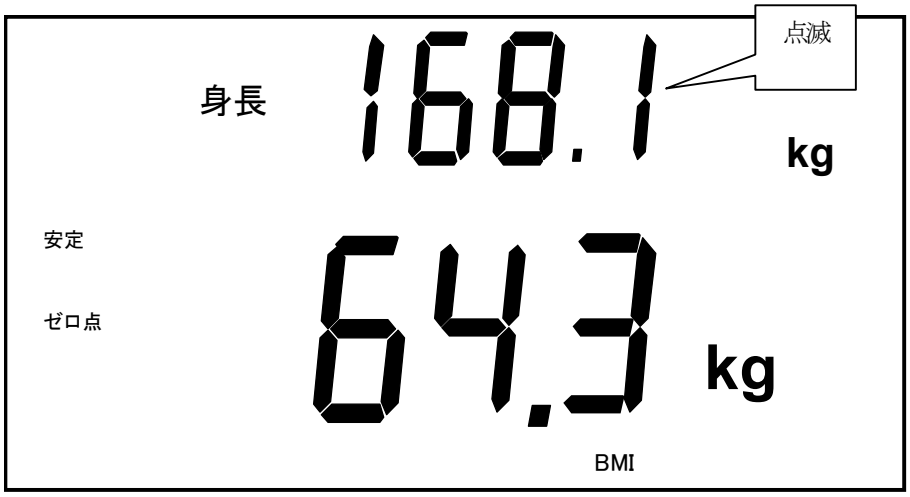
6．この状態で、ストレッチャーシーツを取り外すと、表示下部にはシーツ重量が差し引かれてマイナス表示になります。
　７．１　５の手順から同じように測定してください。

7.4.　ＢＭＩを測定する

ＢＭＩスイッチを押すと、身長値を入力することでＢＭＩを計算し表示します。

手順：

１．７．１に従い、患者の体重を表示させます。
２．安定したら、ＢＭＩスイッチを押します。
３．表示上部に、シーツ重量にかわり身長値が点滅表示されるので　＋　－　　スイッチ押して身長値を変更します。



４．一定時間スイッチを押さないと自動に身長値が決定されＢＭＩが交互に表示されます。

7.4.1.　前回測定を表示する

測定値の記録などを忘れたときは、前回値スイッチを押すことで、直前に測定した値が表示されます。
７．６項のオプションプリンタ装着時には、日付、時刻とともに体重値、シーツ重量が印字されます。

7.5.　衣服の重さを引いてはかる

7.5.1.　衣服の重さとして1.0kg引くとき

手順：

1．７．１項に従って、電源をいれます。
2．衣服引スイッチを押すと初期の衣服引き量（プリセット風袋量）シーツ重量からさらに、1.0kg が表示から差し引かれます。
3．PT と正味量が点灯し、この状態で衣服引き量（プリセット風袋量）として 1.0kg 差し引かれた測定ができます。
4．通常　の測定にもどすには、衣服引スイッチを押します。

7.5.2.　衣服の重さを変更するとき

手順：

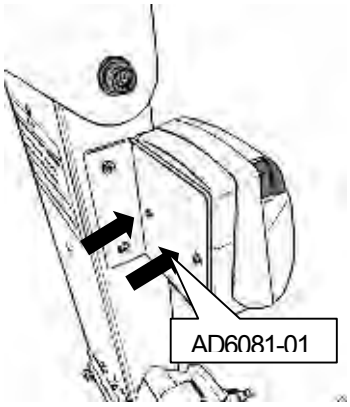
1．７．１項に従って、電源をいれます。
2．衣服引スイッチを押すと初期の衣服引き量（プリセット風袋量）シーツ重量からさらに、1.0kg が表示から差し引かれます。
3．＋、－スイッチを押すと、衣服引き量（プリセット風袋量）1.0kg が 100g 単位で変更されます。
　　変更中は PT マークは点滅します。
4．変更後しばらくすると正味量と PT が点灯しこの状態で、変更された衣服引き量（プリセット風袋量）で差し引かれた測定ができます。

7.6.　オプションプリンタ AD-PR580での自動印字

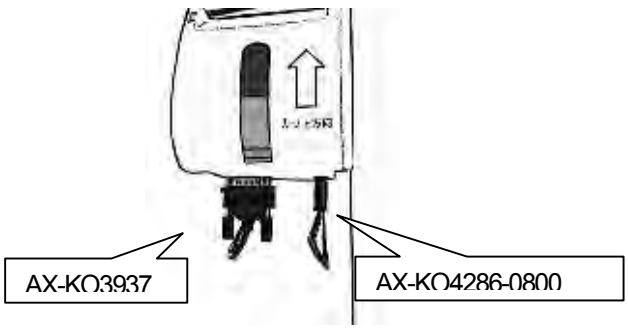
本器専用のオプションプリンタ(AD-PR580)を接続すると、体重、ＢＭＩ表示時、同時に印字を行います。
その他 プリンタ金具 AD6081-01,専用通信ケーブル AX-KO3937、専用電源ケーブル AX-KO4286-0800 が必要です。

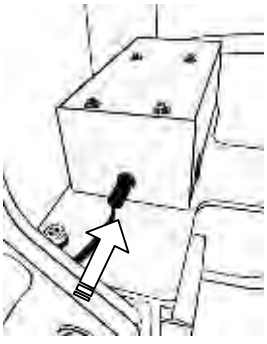
取付手順：

1．プリンタ金具 AD6081-01 を本器の図の位置に付属ネジで固定します。

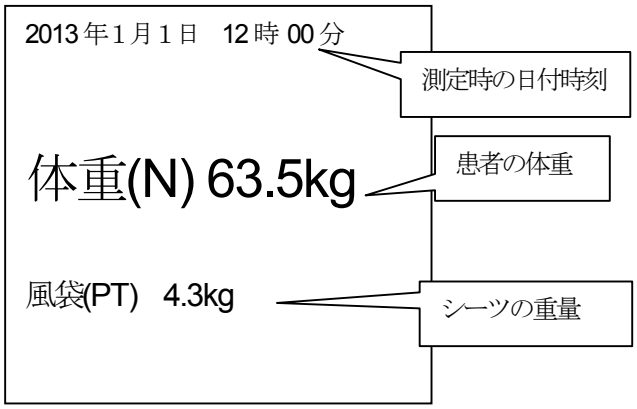


2．通信ケーブル AX-KO3937 を体重表示器の拡張端子に、電源ケーブル AX-KO4286-0800 を表示器裏側のＤＣジャックに接続します。

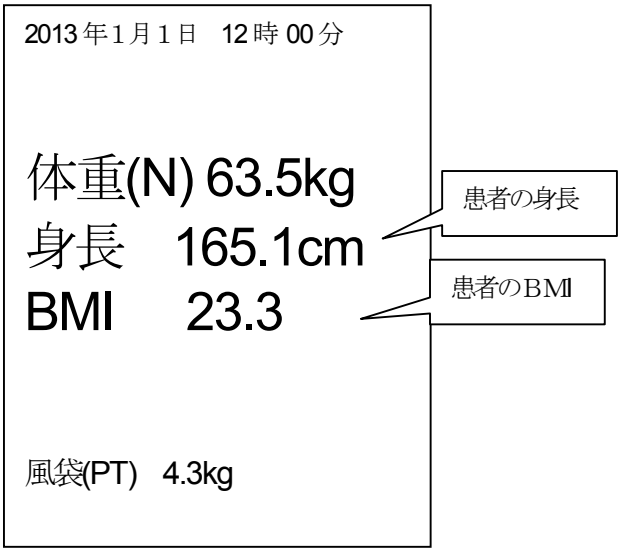




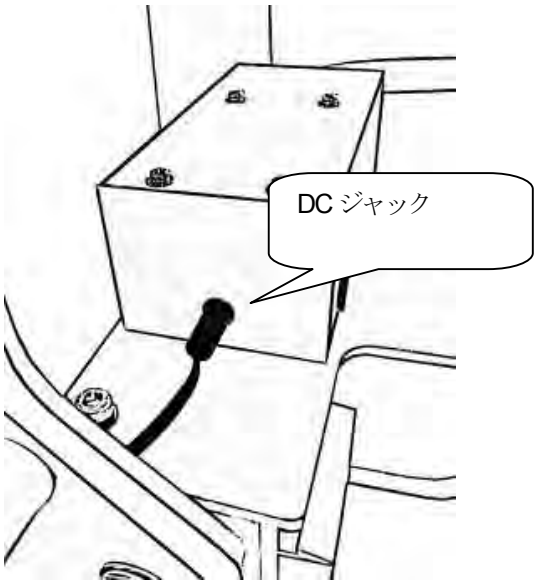
3．ON/OFF スイッチを３秒以上押すと、電源がはいります。　体重が安定すると以下の印字をします。



体重測定時



BMI測定時



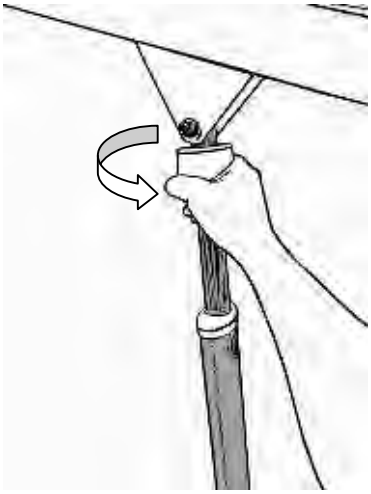
⚠注意	
❗	■ 表示機背面部にあるDCジャックはオプションプリンタ専用です。専用電源ケーブルAX-K04286-0800以外は絶対に接続しないでください。故障する恐れがあります。

7.7.　停電時・非常停止ボタンを押したときは、、、

停電時や、コントローラの非常停止ボタンを押すと、即座にアクチュエータは動作を停止し、リモコン操作はきかなくなります。

手順：

1．アクチュエータ上部の握りを回して、患者を安全に下に降ろします。



2．コントローラにてバッテリー残量が十分であることを確認します。不足している場合は充電してください。

3．図の手順で、非常停止ボタンを復帰させ、リモコン操作を確認します。上昇・下降が止まらない、動かないなど動作に問題があるときは、弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。

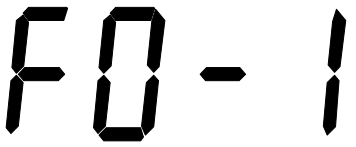
7.8.　ファンクション設定

ファンクション設定は、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定ができます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

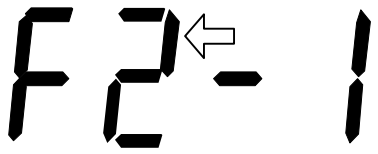
7.8.1.　ファンクション設定方法

手順：

1. 測定OFFの状態にします。
2. シーツ重量記憶スイッチを先に押した状態で、ON/OFFスイッチを押します。
3. “F0-＊”と表示されます。



4. シーツ重量記憶スイッチを押すと設定が変更され、F0-0→F0-1と変わります。
5. ＋スイッチを押すと次の項目になりF0-0→F1-0と変わります。
6. －　スイッチを押すと前の項目に戻りF2-0→F1-0と変わります。



7. 上記の項目の設定が終わったら、ON/OFFスイッチを押します。
8．表示に”End”と現れ、設定が記憶されます。

7.8.2. ファンクション一覧

◆は初期設定を表します。

項目	内容	設定値	設定内容
F0	イニシャル	◆0	無効
		1	※工場出荷状態
F1	オートパワーオフ	◆0	無し
		1	5 分
		2	10 分
		3	15 分
		4	30 分
F2	表示固定	0	無し
		1	有り　時間解除
		◆2	有り　変動量±3.0kg で解除
		3	有り　1+2 の条件で解除
F3	ブザー音	0	無効
		◆1	有効

F0-1 に設定すると、その他の項目を全て初期設定に戻します。

8. 保守

8.1. 保守点検と安全管理

本器などの機器は必要時にそれの有する機能が十分に発揮され、しかも患者ならびに測定者の安全が確実に保たれているように管理がされなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。
本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。
弊社では、１年に１回以上の定期点検をお勧め致します。

⚠注意	
❗	■ ご使用にならないときは常に、AC コードをコンセントにつなぎバッテリーを充電させてください。電池容量が一定以下になりますと、充電ができずご使用ができなくなります。 ■ 常に充電ができない状態で、１カ月以上にわたり長期間保存する場合は、6.2.2 に従いバッテリーを本器から外してください。その際１カ月に１回は本器に取り付け、必ず充電をおこなってください。

8.2. 清掃

⚠注意	
❗	■ 清掃を行う際は、バッテリーを本器から外して、電源ケーブルを抜いてください。 感電の恐れがあります。
⃠	■ 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本機器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。
・機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
・清掃する時は、水に薄めた中性洗剤又は、消毒用アルコールを使用してください。
・血液、薬剤、汚物などが付着した時は、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

8.3. 定期点検

装置を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
定期点検については、弊社にお問合せください。

8.3.1. 電源投入前

電源投入前に6.3.1に従い点検を行い問題が無いことを確認してください。

8.3.2. 電源投入後

電源投入後に6.3.2に従い点検を行い問題が無いことを確認してください。

■機器に異常がある場合は、点検にお出しください。
■点検は、最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

8.4. 廃棄

本器の廃棄及びリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

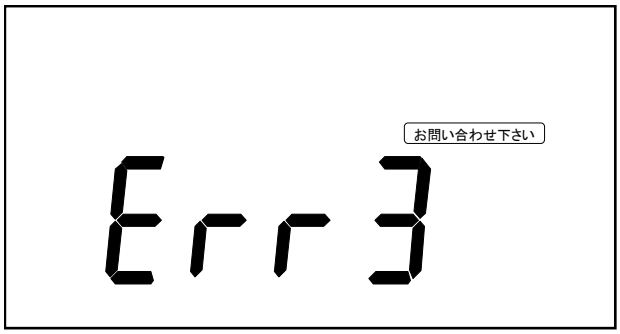
品　名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	筐体	鉄
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池
	バッテリー	「廃プラスチック類（ケース）」「金属くず（極板、端子等）」及び「特別管理産業廃棄物である廃酸」の混合物

8.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。
これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	・バッテリーは正しく装着されていますか? ・バッテリー残量は十分ありますか?
“−−−−−”を表示したまま変わらない。	・電源をいれると、計量台吊り輪が周りの物に引っかかったり、負荷が加わっていませんか? 約 20kg 以上のものを載せて電源をいれると表示されます、載っているものを降ろしてください。
正しくはかれない。	・計量台吊り輪が周りの物に引っかかっていませんか? ・計量台に壁やコードなどが接触していませんか? ・ストレッチャーシーツの取付は正しくおこなわれていますか ・ストレッチャーシーツが回りに接触していませんか ・水平に設置されていますか?
ケーブル確認と表示される。	・表示器とセンサ部を接続する専用ケーブルがぬけていませんか? ※正しく接続されている場合はケーブルが切れている可能性があります
測定範囲外と表示される。	・計量台に 200.0kg 以上載っているか、電源投入時に計量台の載っているものを下ろしたとき表示されます。故障では有りません。

以下のように「Err 番号」が出るときは、故障の可能性が高いです。表示される番号とともに弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。



⚠ 警告	
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。 けが、火災、感電の原因となります。

9.　アクセサリ・オプションリスト

品名	型名
医療用体重計専用プリンタ	AD-PR580
専用プリンタ用通信ケーブル	AX-KO3937
専用プリンタ用電源ケーブル	AX-KO4286-0800
専用プリンタ取り付け金具	AD6081-02
プリンタ用紙	AX-PP147-S
ストレッチャーシーツ	AX-1133016607
シーツカバー(50m)	AS-SS-COVER-50
アクチュエータ用バッテリー	UFT-BAJ
アクチュエータ用リモコン	UFT-HB51
バッテリー充電器	UFT-CHJ20000020
ＡＣ電源ケーブル	AS-0015806
直進安定金具	AD6081-01